

消防職員がポルトガル語で店頭防火広報を実施

太田市消防本部

大泉消防署が管轄する邑楽郡大泉町は、人口の約2割が外国籍のうち半数以上がブラジル国籍の方が居住している街です。

これに伴い、歳末防火運動の一環として令和2年12月16日・17日の2日間、大泉町のブラジル国籍居住者が大勢利用する食料品店において、空気の乾燥・火の元確認・住警器設置義務等、消防職員によるポルトガル語店頭防火広報及び防火チラシの配布を実施しました。

利用者からは、流暢な母国語で話されたので印象に残った。今後火の用心を心掛けたいと好評でした。
※YouTubeで視聴できます。



子供への防火教育!春の火災予防運動♪ 『防火チラシ de マスクケース』

柏市消防局

柏市消防局旭町消防署は3月1日、春季全国火災予防運動にあわせ、市民に住宅用火災警報器の点検促進と新型コロナウイルスの感染抑制を周知するため、小学生を対象に折るだけで簡単にマスクケースに早変わりする防火チラシを配布しました。柏市は、住宅火災による死者数ゼロを目指し、各世帯に住宅用火災警報器の重要性を認識してもらうよう継続的に働きかけ、子供への防火・防災教育の充実を図ってまいります。



消防通信 望楼 ぼうろう

BC災害対応訓練を実施

豊川市消防本部

豊川市消防署では、令和2年12月10日(木)に豊川市豊川公園内において、BC災害対応合同訓練を実施しました。

「陸上競技場スタンド内において、何者かが液体を撒き散らし、多数の負傷者が発生している」という通報内容で、テロ災害を想定しました。

東京オリンピック・パラリンピックの開催が控えていることもあり、大規模テロ災害対応の経験がない本市の対応能力強化及びNBC災害対応マニュアルの再確認を目的として訓練を実施しました。



山林内標識板をリニューアル

東大阪市消防局

このたび東大阪市消防局東消防署では、増加するハイカーの有事に備えるため山林内標識板をリニューアルしました。毎年、救急や救助事案が10件程度発生している中で、標識板によりスムーズな活動につながった実績もあります。1月29日に既存の標識板の更新と他のハイキングコース内に約100m間隔で計220箇所の設置を完了し、現在地の地図と英語表記も追加しました。本格的なハイキングの季節を迎えるにあたり、山林内事故に迅速的確に対応できる一助になればと考えています。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】